

1 かてい ホセアの家庭に

しっぱい なぜ失敗がきたのでしょうか

		
()	()	()
		合計点
()	()	()



ていこうのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

ホセア 1:1~11 イスラエル人の数は、海の砂のようになり、量ること
も数えることもできなくなる。彼らは、「あなたがたはわたしの民で
はない」と言われた所で、「あなたがたは生ける神の子らだ」と言わ
れるようになる。(10)

1. 人々は大きな問題に会うと、ほとんどはその問題にとらえられます

- (1) 律法主義に陥ります (ヨハネ 9:1~3)
- (2) 不健全な神秘主義に陥ります (I サムエル 28:3~7)
- (3) 人間主義(不信仰)に陥ります (I 列 19:1)
- (4) あきらめるようになります (I サムエル 31:1~6)
- (5) 問題の中に陥ります (I サムエル 31:7~13)

2. ホセアの家庭に大きな問題がきました

- (1) 姦淫の女に出会い、姦淫の子らを生みました (ホセア 1:1~2)
- (2) ホセアの息子イズレエルは、神様が散らせるという意味です
ホセアの娘ロールハマは、愛されない者という意味です
ホセアの息子ロ・アミは、主の民ではないという意味です (ホセア 1:4~9)

- (3) 姦通を取り除かなければ、砂漠のように渴いて死ぬようにな
ります (ホセア 2:3)
いばらで道に垣を立てて、石垣を立てて通い路を見だせない
ようになります (ホセア 2:5~7)

3. どのように解釈すべきでしょうか

- (1) 失敗を通して時代のメッセージを悟らならばなりません
- (2) 失敗を完全に土台にして、乗り越えならばなりません
- (3) 失敗の中から神様が願われる大きな答えを見つけならばなりません



✓ 定刻祈りに成功したらチェックしよう

ホセア 3:1~5 主は私に仰せられた。「再び行って、夫に愛されているながら姦通している女を愛せよ。ちょうど、ほかの神々に向かい、干しぶどうの菓子^{かし}を愛しているイスラエルの人々を主が愛しておられるように。」(1)



1. 神様は、良いことをあたえられる方です

- (1) 未信者にも一般的な祝福をあたえられます
- (2) 弱い者にも機会をあたえられます
- (3) 信徒には、特別な恵みをあたえられます

2. ホセアがゆるしの祝福を味わうようにされました

- (1) 姦通している女である妻をゆるしなさいとおっしゃいました (ホセア 3:1)
- (2) 銀十五シケルと大麦一ホメル半で妻を買い取るようにおっしゃいました (ホセア 3:2)
- (3) 神様に戻る機会をあたえなさいとおっしゃいました (ホセア 3:3)

3. 神様は恵みをあたえることを喜ばれ、私たちがその祝福を知ることが願っておられます

- (1) 知らないのではなく、待っておられます (ハバクク 2:1~4)
- (2) 罰をあたえておられるようでも、もっと良いものをあたえられます (出 3:1~18)
- (3) 罰をあたえられることも、回復のためです (イザヤ 6:13)

わたしたちのくやしさをホセアのように
かいけつ
解決しなければなりません



ぐうぞうすうはい なぜ偶像崇拜は いちばん大きな罪になるのですか

		
()	()	()
		合計点
()	()	()



定刻祈りに成功したらチェックしよう
 ✓ **ホセア 4:1~10** わたしの民は知識がないので滅ぼされる。あなたが知識を退けたので、わたしはあなたを退けて、わたしの祭司としない。あなたは神のおしえを忘れたので、わたしもまた、あなたの子らを忘れよう。(6)



1. 神様は偶像崇拜を絶対に禁じられました

- (1) サタンせんりやくの戦略せんりやくです (創 3:1~5)
- (2) 霊的な問題れいてき もんだいの中に陥おちいります (I 列 18:1~19:20)
- (3) 次世代じせだいまで災わざわいに陥おちいります (出 20:3~4)

2. イスラエルの堕落だらくと裁きさばをおっしゃいました

- (1) 祭司さいしを叱責しっせきされました (ホセア 4:1~6)
- (2) 偶像ぐうぞうに対する無知たい むちを語かたられました (ホセア 4:11~19)
- (3) 荒れはてて、戦争せんそうが起おきました (ホセア 5:8~15)
- (4) 王宮おうきゆうに内紛ないふんが起おきました (ホセア 7:1~16)
あざけり、陰謀いんぼう、祈いのりが無い時代じだいがきました

3. 伝道でんどう、宣教せんきょうにいのちをかける理由りゆうは何なんでしょうか

- (1) 信徒しんとうが霊的れいてきに無知むちだからです (ホセア 4:6)
- (2) 国くにの災わざわいが偶像文化ぐうぞうぶんかから来るためです (ホセア 4:11~19)
- (3) 強国きょうこくの未来みらいが大きな災わざわいにつながるためです (ホセア 5:9)

✓ 定刻祈りに成功したらチェックしよう
ホセア 12:1~14 主はひとりの預言者によって、イスラエルをエジプトから連れ上り、ひとりの預言者によって、これを守られた。(13)



1. 神様が無条件に救いの道を開かれました

- (1) サタンにだまされて罪を犯し、神様から離れた人間に女の子孫を送って救うと約束されました (創 3:1~5、15)
- (2) ネフィリム時代の呪いを防ぐ方法がないため、箱舟を造りなさいとおっしゃいました (創 6:1~10、14)
- (3) 奴隷になっているイスラエルを解放する道がないため、血のいけにえの契約をあたえられました (出 3:1~8、18)
- (4) 捕虜時代に最後まで生き残る者がいないため、Remnantの契約をあたえられました (イザヤ 6:1~12、13)
- (5) 最後の混乱期に勝つ者がいないため、イエス・キリストを送ってくださいました (マタイ 24:1~14、16:16)

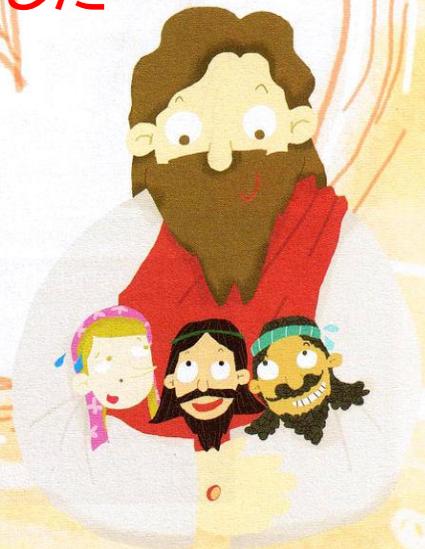
2. ホセアにみことばをあたえられました

- (1) 神様の民を捨てないとおっしゃいました (11:1~12) - エジプトから呼び出されたように
- (2) 神様にすみやかに立ち返る伝道運動をしました (12:1~5) - ヤコブを救われたように
- (3) 世の中のものを捨て、神様に立ち返りなさいと言いました (ホセア 14:1~8)
- そうすると、オリーブの木、レバノンの杉、ぶどうの木のように生かされます (ホセア 14:3~8)

3. 解決策は一つしかありません

- (1) 神様の愛によってゆるされなければなりません
- (2) 解決策は、神様の恵みしかありません (ホセア 3:1~5)
- (3) 神様の愛によってすべてに勝つことができます (ホセア 6:2)

神様はイスラエルの回復を
やくそく
約束されました



子どもが知るべきホセア書

福音を回復してこそ

力を受けることができます

		
()	()	()
		合計点
()	()	()



✓ 定刻祈りに成功したらチェックしよう
ホセア 11:1 イスラエルが幼いころ、わたしは彼を愛し、わたしの子をエジプトから呼び出した。

1. みことばが完成される前に一つをもってすべてを回復しました

- (1) ヨセフは、女の子孫という契約で勝利しました (創 3:15)
- (2) モーセは、血のいけにえの契約で出エジプトの祝福を受けました (出 3:18)
- (3) 捕虜時代のイザヤは、Remnantの契約で勝利しました (イザヤ 7:14)
- (4) 初代教会は、イエス・キリストのみをにぎって、ローマを征服しました (マタイ 16:16)

2. ホセア書に隠れたキリストの奥義が入っています

- (1) エジプトに避難したキリストが預言されました (ホセア 11:1、マタイ 2:13~15)
- (2) エジプトから戻ったキリストが預言されました (ホセア 11:1)
- (3) 異邦人の救いについて記されています (ホセア 1:10、2:23)
- (4) 花婿となるキリストの愛がたとえられています (ホセア 3:1~5)
- (5) キリストの復活を表現しました (ホセア 6:2)

3. 福音によってすべてを再解釈してこそ、正しい答えがあたえられます

- (1) みことばを福音によって再解釈すべきです
- (2) 事件を福音によって事件を再解釈すべきです
- (3) 人を福音によってもう一度見るべきです

